

緩やかな回復の動きを続ける県内経済

1. 平成19年 8月の県内経済

消費動向をみると、大型小売店販売額は5ヵ月連続で前年を下回り、乗用車販売台数も主力の中小型乗用車低迷とともに軽自動車も前年割れとなり低調、消費は総じてやや減少の動きとなっている。生産活動は、精密機械の業種を中心として増勢基調で推移し、雇用動向は有効求人倍率、新規求人倍率も上昇し改善基調を維持している。投資動向は、公共工事前払保証取扱請負金額が市町村の大幅な発注減により前年を下回り、新設住宅着工戸数は5ヵ月連続で前年を下回るなど低調に推移している。以上のことから、県内経済は消費や投資動向などで弱さがみられるものの、生産活動と雇用情勢が牽引役となり、基調としては緩やかな回復の動きを続けているとみられる。

〔消費動向〕 やや減少：大型小売店販売額（全店舗）は猛暑の影響から夏物衣料品などに動きがあったが5ヵ月連続で前年同月を下回った。乗用車販売台数は、主力の中小型乗用車を始め全般的に低調な動きで前年を下回った。消費者物価指数は、前月比では上昇し、前年では変らなかった。個別企業の販売動向をみると、家電量販店では、薄型テレビ、携帯電話などは堅調であったが連日の猛暑日の影響から、エアコンなどが大幅に伸び前年をやや上回る水準で推移し、ホームセンターにおいても、家庭用品や園芸用品などが伸び前年をやや上回る水準で推移した。旅行取扱額は、国内の個人、団体旅行が伸び前年をやや上回った。以上のことから、消費は総じてやや減少で推移している。

〔投資動向〕 減少基調：公共工事前払取扱保証請負金額は、国、県の発注は伸びたものの市町村の大幅な発注減により前年を下回った。7月の建設着工棟数（民間・非居住用）は4ヵ月連続で前年を下回った。新設住宅着工戸数は、5ヵ月連続で前年を下回った。

〔生産活動〕 増加基調：7月の鉱工業生産指数は109.2（季節調整済指数）で前月比1.9%の2ヵ月連続上昇、前年比8.2%（原指数）の上昇となった。これらの動きと並行して、大口電力販売量も49ヵ月連続して前年を上回っており、生産活動は増加基調で推移している。

〔企業倒産〕 前月比横這い：倒産件数は前月を上回ったが、金額は大型倒産の発生がなく下回った。

〔金融動向〕 横這い：8月の預金は前年をやや上回ったが貸出金は前年を下回る水準で推移した。

〔雇用動向〕 改善基調：新規求人倍率、有効求人倍率はともに若干前年同月を上回った。

県内経済動向の概要

	項 目	6 月		7 月		8 月	
		前年同月比	前 月 比	前年同月比	前 月 比	前年同月比	前 月 比
消費動向	大型小売店販売額（全店舗）	↘	↘	↘	↗	→	↗
	乗用車新車登録台数	↘	↗	↘	↘	↘	↗
	消費者物価指数（総合）	→	→	↗	↘	→	↗
投資動向	公共工事前払保証取扱保証請負金額	→	↗	↗	↘	↘	↘
	建設着工棟数（民間・非居住用）	↗	↗	↗	↗	-	-
	新設住宅着工戸数	↗	↗	↗	↗	↘	↘
生産活動	鉱工業生産指数（総合）注1	→	→	↗	→	-	-
	大口電力販売量	↗	↗	↗	↗	↗	↘
企業倒産	企業倒産件数	→	→	↗	↗	↘	↗
	企業倒産金額	↗	↗	↗	↗	↗	↗
金融動向	預 金	↗	→	↗	↘	↗	→
	貸 出 金	↗	↗	↘	↘	↘	↘
雇用動向	有効求人倍率（パート含む）注2	↗	↗	→	→	→	↗
	新規求人倍率（パート含む）注2	↗	↘	→	→	↗	↗

良化 ↗ 良化傾向にあるがほぼ横這い ⇨ 悪化傾向にあるがほぼ横這い ⇨ 悪化 ↘
 注1：季節調整済。 注2：季節調整値。

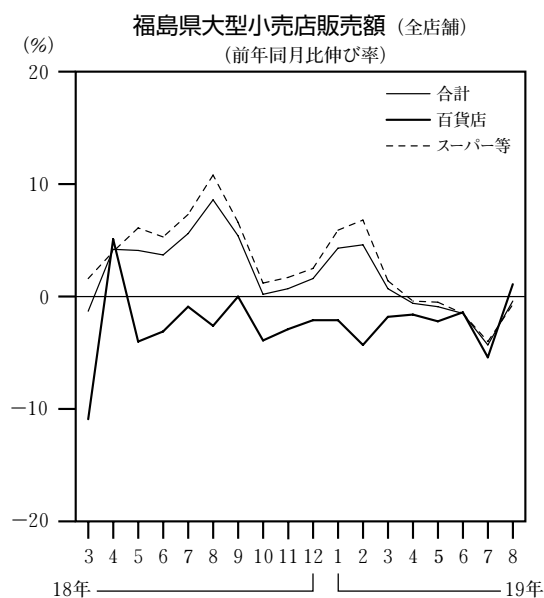
2. 県内経済動向

— 消費動向 —

大型小売店 8月の県内大型小売店の販売額は、連日の猛暑などの影響から夏物衣料品、飲料品、化粧品などに動きはみられたものの全店舗ベースで196億62百万円（前年同月比0.4%減）となり、5ヵ月連続で前年を下回った。また、既存店ベースでは同0.3%増となり前月まで19ヵ月連続で前年を下回っていたが一旦下げ止まった。業態別に内訳をみると百貨店は、最終サマークリアランスセールなどの催事でその他の商品に動きがみられ、主力の紳士・婦人衣料品については前月と比べ一桁の減少に止まったことなどから合計では30億23百万円（同1.1%増）となり、前月まで10ヵ月連続で前年を下回っていたが一旦下げ止まった。スーパーについては、主力の飲食料品は微増となり、扇風機などの家庭電器器具などには動きがみられたものの、衣料品、家庭用品などが低調であったことから合計では166億39百万円（同0.7%

減）となり5ヵ月連続で前年を下回った。

乗用車販売 8月の乗用車新車登録台数（軽乗用車含）は、主力の中小型乗用車とともに軽乗用車も前年割れし、合計では4,148台（前年同月比5.4%減）と3ヵ月連続で前年を下回った。車種別で見ると、大型乗用車が463台（同15.2%減）と8ヵ月連続で前年を下回り、中小型乗用車も2,267台



（資料：経済産業省）

(同3.0%減)と23ヵ月連続で前年を下回った。また、好調であった軽乗用車についても、1,418台(同5.5%減)と2ヵ月連続で前年を下回った。

8月の乗用車中古車登録台数(軽自動車は名義変更を含む)の合計では8,966台(前年同月比7.8%減)となり3ヵ月連続で前年を下回った。車種別にみると大型乗用車が2,582台(同9.0%減)、中小型乗用車が3,597台(同10.5%減)、軽乗用車が2,787台(同2.7%減)となった。

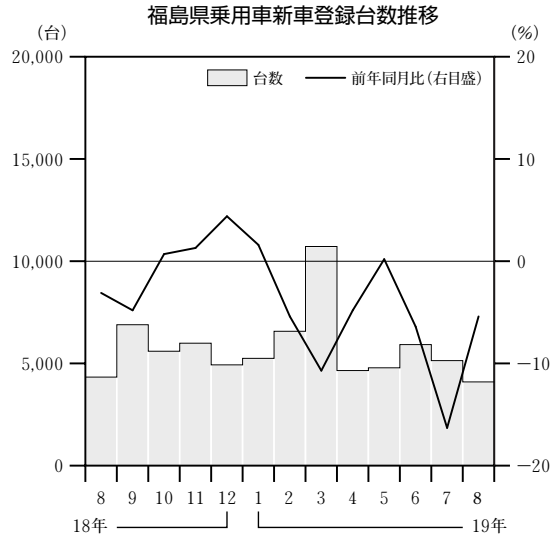
消費者物価指数 8月の消費者物価指数は、総合指数(福島市、平成17年=100)が100.2と前月比で0.3ポイント上昇し、前年同月比では変らなかった。費目別の指数動向をみると、「光熱・水道」は105.0と前月比0.3ポイント、「交通・通信」は102.1と同0.6ポイント、「教養娯楽」は99.5と同1.3ポイント、「食料」は100.2と同0.6ポイント、「家具・家庭用品」は93.5と同0.4ポイントそれぞれ上昇した。一方、「被服及び履物」は91.4と同1.9ポイント、「保健医療」は98.7と同0.1ポイント、「住居」は100.4と同0.1ポイントそれぞれ下降した。「教育」は101.3と変らなかった。

家電量販店 8月は、薄型テレビ、携帯電話、デジタルカメラなどの販売が堅調に推移した。一方、冷蔵庫や洗濯機は前年並みだったものの、エアコンは35度以上の猛暑日が続いたこともあり、数量・金額ともに前年を大幅に上回った。

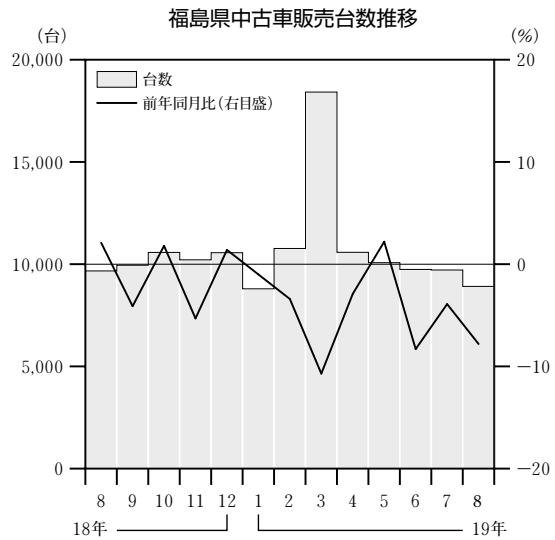
ホームセンター 8月の売上は、家庭用品や植物・園芸用品、DIY用品、カー・レジャー用品などが堅調、全体では前年をやや上回る水準で推移した。

旅行 8月の旅行取扱額実績のうち、個人の国内および団体は前年を上回ったが、ハワイ、ヨーロッパ等が伸び悩んだ海外個人、海外団体は前年を下回った。全体の取扱額としては前年を上回った。

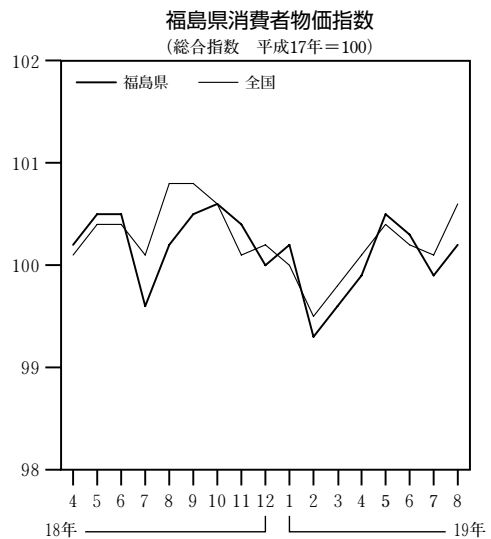
高速道路 8月の県内自動車道の通過台数は合計で4,405,051台(前年同月比2.7%増)となった。



(資料：福島県自動車販売店協会)



(注)軽自動車は名義変更台数含む
資料：(社)日本自動車販売協会連合会 福島支部
(社)全国軽自動車販売協会連合会



(資料：総務省統計局)

路線別にみると、東北自動車道（白河IC～国見IC）が2,457,722台（同2.2%増）、磐越自動車道（いわき三和IC～郡山東IC）が331,016台（同7.0%増）、磐越自動車道（磐梯熱海IC～西会津IC）が671,680台（同0.9%増）、常磐自動車道（いわき勿来IC～常磐富岡IC）が944,633台（同3.8%増）となった。

福島空港 8月の福島空港国内便の利用状況は、札幌便が13,771人（前年同月比1.3%増）、大阪便が17,670人（同2.2%増）、沖縄便が7,048人（同2.4%増）となり、昨年9月に1日2便から1便体制となった名古屋便は1,510人（同45.2%減）となった。

国際便では、上海便が1,959人（同14.2%増）となり、昨年11月に週5便から3便体制となったソウル便は5,549人（同18.4%減）となった。

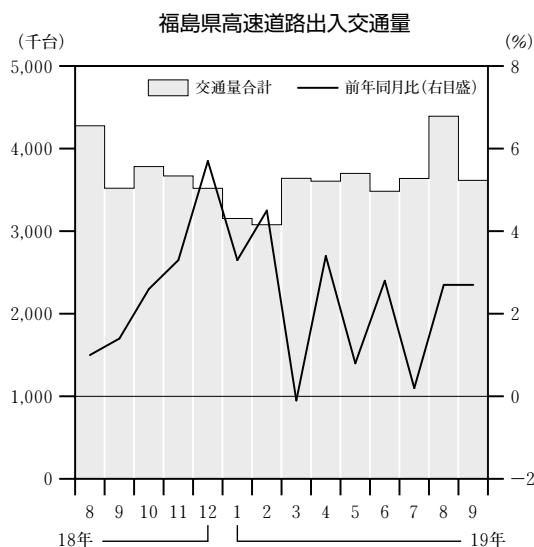
—— 投資動向 ——

公共工事 8月の公共工事前払保証取扱は、件数が555件（前年同月比5.8%減）、請負金額が169億64百万円（同12.0%減）、保証金額が64億29百万円（同13.4%減）とそれぞれ減少した。

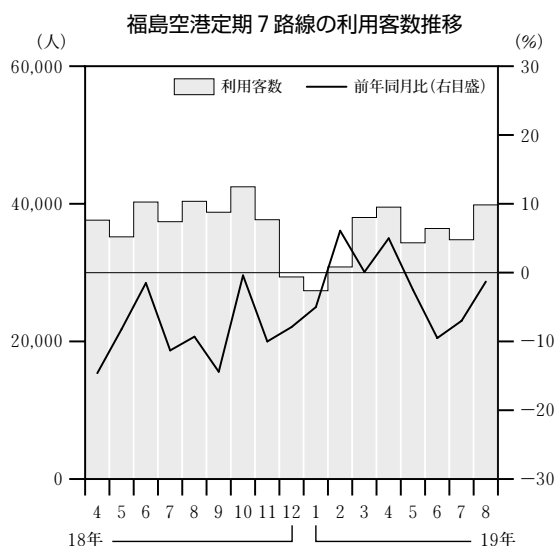
平成19年4月から8月（累計）は件数が2,650件（同0.5%増）、請負金額が1,028億56百万円（同4.1%減）、保証金額が390億50百万円（同6.6%減）となった。

特に、国は、請負金額で134億33百万円（同、70.4%増）となった反面、県は請負金額で389億91百万円（同14.3%減）と減少している。

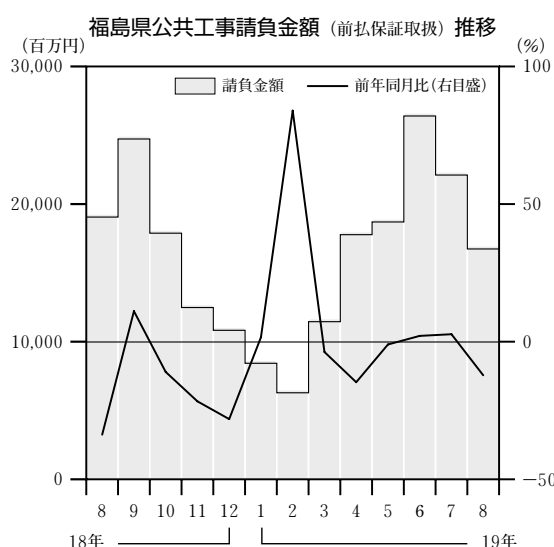
設備投資 7月の建築着工（民間・非居住用）の棟数は、215棟（前年同月比8.9%減）と4ヵ月連続で減少した。床面積、工事費予定額についても、5月、6月に大幅に増加したが、床面積は、86,623㎡（同13.1%減）、工事費予定額は、119億8百万円（同7.3%減）とそれぞれ減少した。



（資料：東日本高速道路(株)東北支社）



（資料：福島空港ビル）



（資料：東日本建設業保証(株)）

住宅建設 8月の県内新設住宅着工戸数は、868戸と前年同月比22.5%減少した。利用関係別で見ると、持家は480戸（前年同月比24.5%減）、貸家は320戸（同22.3%減）、分譲は68戸（同21.4%増）となった。

新規住宅着工戸数は5ヵ月連続して前年実績を下回り、減少基調で推移している。

全国的な問題として6月20日の改正建築基準法により建築確認検査の厳格化に伴う審査期間延長の影響も指摘されている。

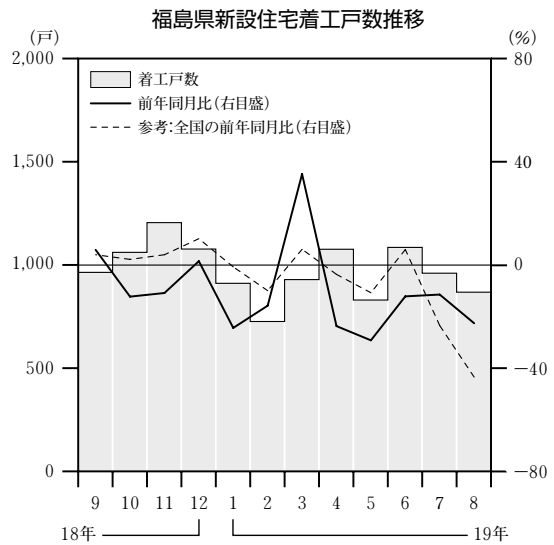
— 生産活動 —

鉱工業生産指数 7月の鉱工業生産指数は、季節調整済指数で見ると109.2で前月比1.9%となり2ヵ月連続して上昇した。また原指数は111.7で前年同月比8.2%上昇した。

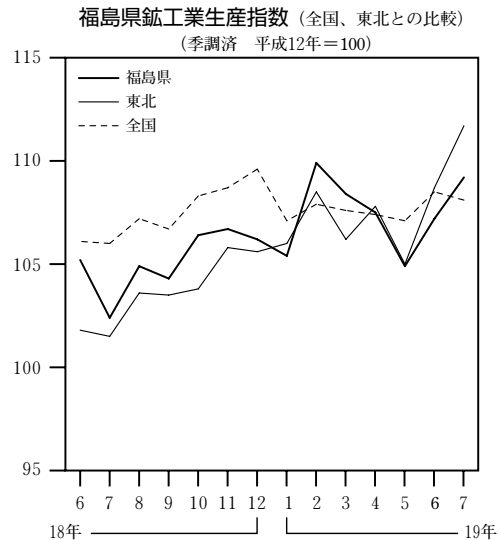
上昇および低下した主な業種別（季節調整済指数）にみると、金属製品工業が126.5（前月比21.1%）、精密機械工業が99.1（同、10.1%）、パルプ・紙・紙加工品工業が110.9（同、10.0%）となり10業種が上昇した。一方、窯業・土石製品工業が84.0（同、△10.9%）、プラスチック製品工業が115.4（同、△8.1%）、一般機械工業が128.5（同、△5.0%）、情報通信機械工業が93.7（同、△4.3%）となり9業種が低下した。

化学 8月の食品包装フィルム用合成樹脂の生産は、国内外の好調な受注を背景に、前年同月を上回り推移した。金属代替プラスチックや炭素繊維も電子部品向けの受注増などを背景にフル操業の生産が続いている。8月の酸化チタン（白色顔料、自動車用塗料向け）の生産は前年並みの水準で推移、バリウム化合物（電子部品原料）の生産は、液晶用塗料向けなどを中心に堅調に推移している。

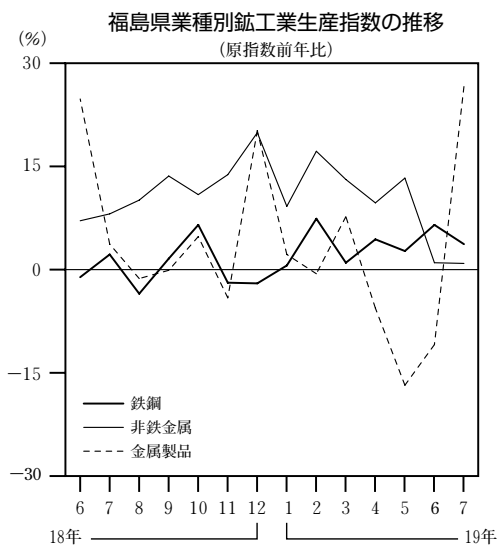
鉄鋼・金属 8月の伸銅品の生産は、自動車向け端子材が堅調、半導体向け電子材もほぼ前年並み



(資料：国土交通省)



(資料：福島県企画調整部情報統計領域)



(資料：福島県企画調整部情報統計領域)

の水準で推移した。8月のトラック用鋳造品の生産は、東南アジアや中南米向けなどの輸出が好調、前年同月を上回った。建機用は、中国、オーストラリア向けなど海外からの受注が好調であり、高水準の生産が続いている。車両用は、新幹線の更新需要等に支えられ、堅調に推移した。陸上プラントおよび船舶用バルブ部品は、海外を中心に好調な受注に支えられ、前年同月を上回る高水準の生産が続いている。

輸送用機械 8月の自動車用オイルシールの生産は、中越地震の影響を若干カバーする形と、北米等の海外向けが堅調だったことから前年をやや上回り推移した。ブレーキ部品の生産は、前年並みの水準で推移した。

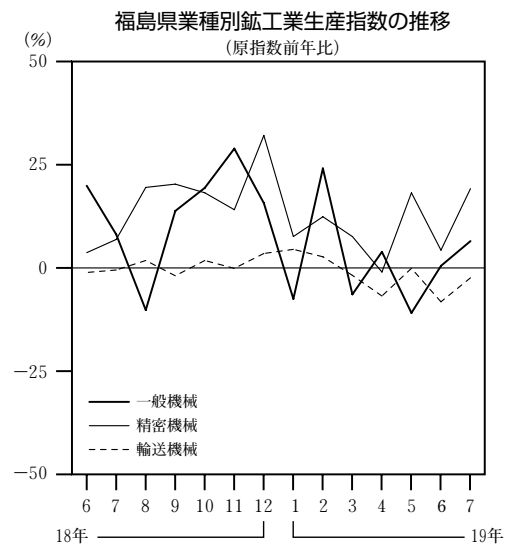
電気機械 8月の変圧器の生産は、堅調な受注を背景に前年並みの水準で推移した。配電盤や電熱炉も安定した生産が続いている。自動車モーターの生産は、国内外の堅調な受注に支えられほぼ前年を上回る水準で推移した。

情報通信機械 8月の携帯電話中継局用マイクロ波通信機器の生産は、インド、トルコなどからの好調な受注を背景に、前年同月比大幅な増産となった。衛星通信機器関連、OA関連機器の生産は、ほぼ前年並みの水準で推移した。

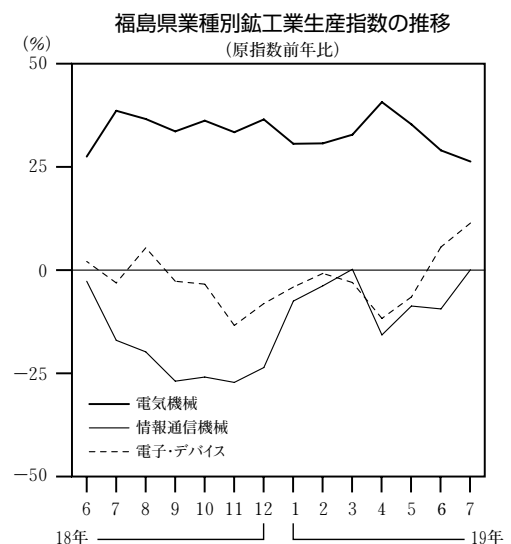
電子部品・デバイス 8月のLSI（大規模集積回路）の生産は、堅調な受注を背景に前年並みの水準で推移した。主力のAV、ゲーム機、家電向けが堅調であり、特に携帯電話向けは前年を大きく上回った。

精密機械 8月の医療用内視鏡の生産は、新製品を中心に受注が好調、国内、海外向けとも前年同月を上回り推移した。8月のデジタル一眼レフカメラ用レンズは、海外向けを中心に堅調な受注に支えられ、前年並みの水準で推移した。

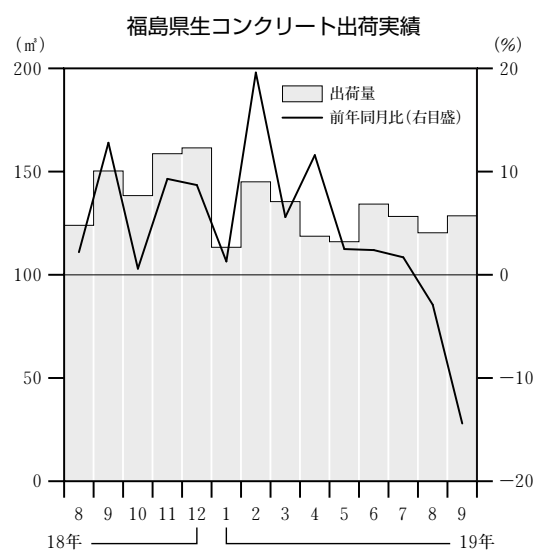
紙・紙加工品 8月の段ボールの生産は、デジタル家電向けや飲料・農産物向けを中心に堅調な受



(資料：福島県企画調整部情報統計領域)



(資料：福島県企画調整部情報統計領域)



注に支えられ、前年並みの水準で推移した。感熱紙の生産は、レジスター用の受注が堅調、前年をやや上回った。インクジェット紙についても前年をやや上回った。ノーカーボン紙の生産は、やや下回った。

窯業・土石 8月の生コンクリート出荷量は前年同月比2.9%減の120,880^m³となった。地区別にみると、相双地区において海岸災害復旧工事が実施されているが、民需の低迷が影響した。

木材・木製品 6月の素材（丸太など）の入荷量は、21,630^m³（前年同月比2.7%減）、販売量は21,197^m³（同7.1%減）となり価格については保合いとなった。

また、製材品（合板など）の入荷量は3,095^m³（同10.5%減）、販売量は2,668^m³（同10.0%減）となり価格については保合いとなった。6月の新設住宅着工戸数は1,085戸、木造戸数は735戸であり木造率は67.7%（前年同月比10.8%減）となった。

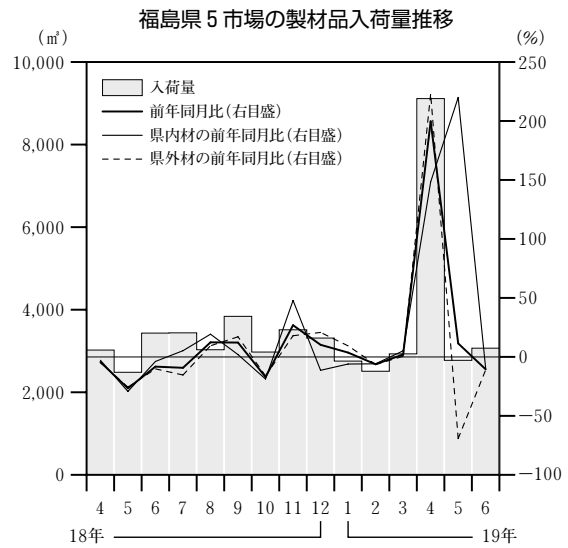
清酒 8月の清酒移出数量は、1,122kl（前年同月比10.2%減）と4ヵ月連続して前年を下回った。

特定名称酒は387kl（同5.9%減）、一般酒は735kl（同12.4%減）とそれぞれ前年を下回った。

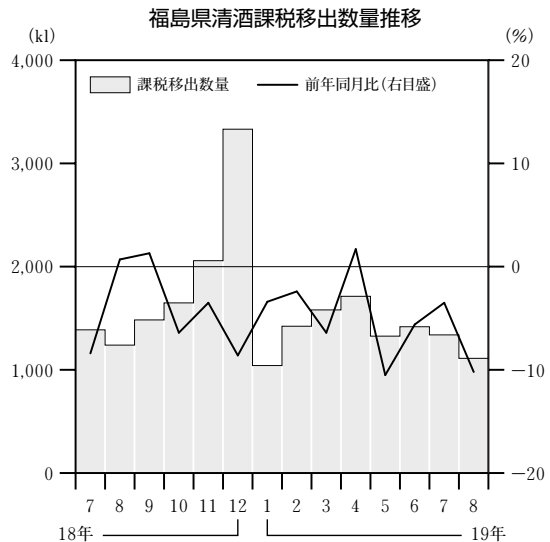
化合繊維物 8月のナイロンの生産は、ダウンジャケット（表地）向けを中心に前年並みの水準で推移した。ポリエステルは、紳士服、婦人服の裏地等の受注が堅調、横這いで推移した。

ニット 8月のニットは、秋冬物向けの生産がピークを迎え、高級品を中心に前年並みの水準で推移した。

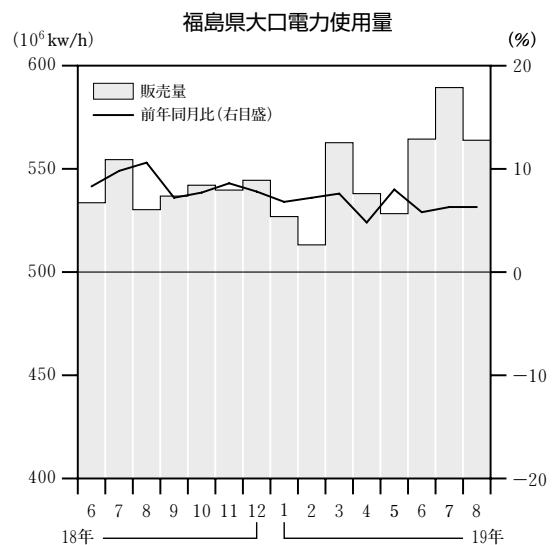
大口電力 8月の大口電力販売量は、564百万kw/hと前年同月比6.3%増となった。主な販売先を業種別にみると、「電気機械」が133百万kw/h（前年同月比8.9%増）、「非鉄金属」が97百万kw/h（同20.6%増）、「化学」が50百万kw/h（同1.3%増）、「輸送用機械」が54百万kw/h（同2.6%増）、「一般機械」が31百万kw/h（同1.9%減）となった。



(資料：福島県農林水産部)



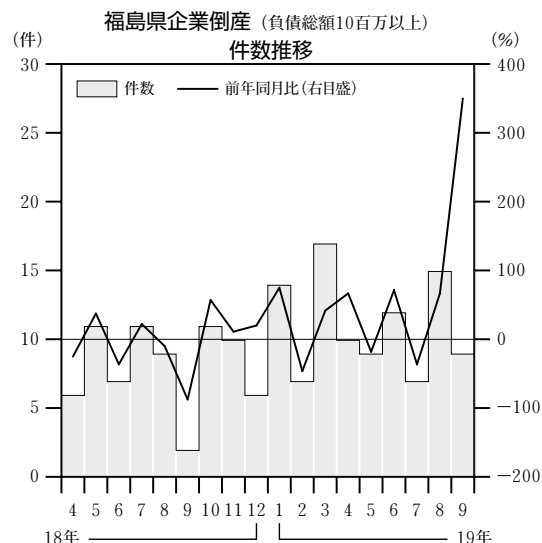
(資料：福島県酒造組合連合会)



(資料：東北電力福島支店)

—— 企 業 倒 産 ——

企業倒産 8月の企業倒産（負債総額10百万円以上）は、件数15件（前年同月比66.7%増）、負債金額は31億55百万円（同61.4%減）となった。倒産原因をみると、受注・販売不振が12件、放漫経営が1件、その他が2件であった。次に業種別にみると、建設業が7件、サービス業が3件、不動産業が2件、製造業、卸売業、運輸・通信業がそれぞれ1件であった。地区別では、県南が5件、県北、浜通りがそれぞれ4件、会津が2件であった。

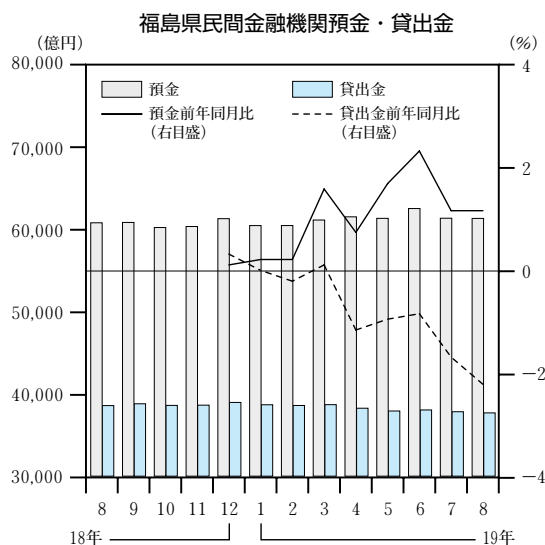


(資料：帝国データバンク福島支店)

—— 金 融 動 向 ——

資金需要 県内金融機関（全国銀行、第二地銀、信用金庫、信用組合の県内店舗分）の8月末の預金残高は6兆1,216億円と前年同月比では0.9%増となった。貸出金残高は、3兆7,663億円と前年同月比で2.3%減となった。

保証協会 8月の保証承諾は、件数1,263件（前年同月比14.9%減）、保証金額122億69百万円（同4.2%減）となった。代位弁済は、件数69件（同11.3%増）、金額6億87百万円（同7.9%増）となった。

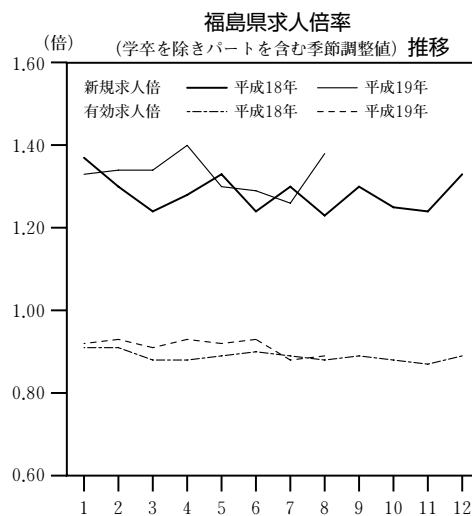


(資料：日本銀行福島支店)

—— 雇 用 動 向 ——

雇用動向 8月の新規求人数は13,490人と前年同月比9.5%増加し、新規求職申込件数は8,839件と同2.3%減少した。

新規求人倍率（季節調整済、パート含）は1.38倍と前月比0.12ポイント、前年同月比では0.15ポイントそれぞれ上回った。また、有効求人倍率（季節調整済、パート含）は0.89倍と前月比0.01ポイント、前年同月比では0.01ポイントそれぞれ上回った。



(資料：福島県労働局職業安定部)